

武蔵野市議会議員 島崎よしじ

武蔵野かわの版

☆島崎義司の市政レポート

平成21年 4月号

発行:武蔵野市境5-13-2-B-1009/TEL&FAX 0422-54-8180/E-mail yoshiji@ab.em-net.ne.jp

◎Webかわら版 <http://shimazakiyoshiji.com/>

☆平成21年度予算 付帯決議を付け可決！

2月24日から3月27日まで、武蔵野市議会第一回定例会が開催され、市長からの施政方針並びに基本的施策の説明、それに対する各会派からの代表質問、そして、一般会計552億円、4特別会計1企業会計を含め総計約806億円にのぼる平成21年度予算の、予算特別委員会での審査などが行われました。

私は今回、所属会派「自由民主クラブ」より選任され、市長の施政方針に対する代表質問と、予算特別委員会の委員を務め、代表質問では、市内景気対策、市民参加のあり方、子育て支援、行財政改革、高架下利用などの問題、予算特別委員会では、職員定数の削減、給食事業の財団法人化、市立境幼稚園の改廃問題、学校情報ネットワークシステムにおける諸問題、職員の市民に対する対応、嘱託職員雇用のあり方、市ホームページの改善、平和施策の問題点、休日開庁の課題と自動交付機の活用、私立幼稚園の預かり保育支援の拡充、公立保育園の民間委託化推進、商業振興・地域振興、まちづくり、ムーバスの再編、桜堤(旧公園)地区計画の現状と今後などなど、多岐にわたる課題を

行政側と徹底的に議論しました。

今回の予算採決にあたっては、議会への情報提供や説明不足の問題、教員の仕事の検証問題、必要システムの再検証や巨額コストの問題等、最も多くの問題点が噴出した学校情報ネットワークシステムに関して、システム・コストを再検討し、議会が納得できるようなものとするまで、その予算執行を凍結することを求める「付帯決議」を付けて、予算を可決成立させました。

全国屈指の財政力指数を競ってきた他の優良自治体が、世界不況による地域経済への打撃を受け、次々とランクを転落させる見通しの中、固定資産税の評価替えなどもあって、税収見込みがこれまでとそれほど変わらないとされる武蔵野市の強い財政力ですが、今後、巨額の財政支出を要する各種公共施設やライフラインの更新(老朽化対応)など、早期に発展・成熟してきた都市としての課題が待ち受けています。漫然とこの財政力に頼っているわけにはいきません。

武蔵野市も今こそ、徹底した行革が必要なのです。

武蔵野市議会議員 島崎義司

☆市長の施政方針に『代表質問』

邑上市長の任期(4年)最後の予算編成議会となる平成21年第一回定例会本会議において、私は、所属会派を代表して、2人目の質問者として「代表質問」に立ちました。

紙面の関係で、ここでは主要な質問と答弁の要約のみ、ご報告しておきたいと思います。

▽積極的な市内景気対策を！

島崎 施政方針では消費喚起策が見られず、プレミアム商品券への支援も小規模で力強さが無い。今後、即効性ある市内景気対策を考えているのか。

市長 商工業者へは、イベント等への支援を継続していくことを基本的な

考え方とする。プレミアム商品券については、成果があった場合に、今後の扱いを検討する。

▽私立幼稚園支援を強化し、待機児対策に繋げ！

島崎 私立幼稚園の預かり保育支援強化は待機児対策にも繋がると考える。これまでに見えてきた課題と、幼稚園側の理解促進や市民への広報について、今後の見解を伺う。

市長 当初は私立幼稚園に取り組みの必要性を理解してもらったための努力が必要であったが、今後は拡充に向け必要な支援を続けていきたい。また、広く市民へのPRに努めたい。



▽公立保育園の民間委託化、給食事業の完全民営化も検討を！

島崎 ① 事務事業見直しと行財政改革で、本市最大の人員費を要する公立保育園の民間委託化についてどう考えるか。② 給食事業の財団法人設立のスケジュールや、将来の完全民営化についての見解を伺う。



市長 ① 役割や位置づけを明確にし、今後庁内で運営形態を検討していきたい。② 21年度に財団法人を設立し、22年度以降の調理委託開始を予定している。(先ずは)内容について議論を深めていきたい。

▽鉄道高架下利用 地域活性化に資する施設を！

島崎 武蔵境地区の高架下利用に関し、検討委員会報告書の取り扱いと今後の市民参加について伺う。また、その中にある撤去自転車保管場所設置案は、地域活性化の観点から、不適当と考えるがどうか。



市長 報告書を市の案としてJRに要望しており、今後JRの考え方が示されれば、市民に公表し意見をいただく。本案はあくまで基本的なものであるため、ご指摘の点も踏まえ、意見調整をしていきたい。

☆予算特別委員会質疑 私の見点

私の議会活動も、4月で丸10年が経過する中、今回、通算8度目の予算特別委員を務めました。紙面の関係で、ここでは総括質疑の要約のみ、ご報告いたします。

▽職員定数適正化 業務の抜本的見直しを！

島崎 武蔵野市は、市民数に対する職員数が三多摩の中では一番多い。近隣では、小平市が一番少なく市民194人に1人。武蔵野市は128人に1人。今年度、第5次職員定数適正化計画策定に当たり、どの程度の削減規模を考えているのか。事務事業補助金見直し委員会で挙げられた53事業中、早急な見直しが必要とされている「公立保育園の民間委託化」は、21年度以内に、ある程度方向性を示せるのか。

市長 適切な業務運営形態の観点から検討を行い、正規職員の担うべき役割を明確にし、アウトソーシングや嘱託職員など、業務分担の見直しによって運営コストを削減していく。削減数は、それぞれ職場の業務の必要人数を精査し、計画としたい。公立保育園は、今の状態での運営を進める以上、正規職員の割合をこれ以上減らすのはよくない。運営のあり方の議論については、21年度以降にスタートする。

▽給食の財団法人化 将来の完全民営化は？

島崎 給食事業の財団法人化は、地方公務員法で今働いている職員をそちらの方に出向させ、行く行くは少しずつ削減して、将来的には完全民営化、一般競争力のある事業団体を育てるというなら意味がある。将来的には財団から会社に移行していくような形に持っていくべきだと思うが、どう考えているか。

副市長 財団法人化は、質の確保と同時に、身分移管の問題も出てくる。いきなり給食会社に持っていくわけにはいかない。まずそこから出発をしていくという形になる。さらに、この財団が仮に経営努力、内部努力を積み重ね、歴史を重ねていけば、委員指摘のように、株式会社化も可能かもしれない。

▽市立境幼稚園で培われた幼児教育を今後どう活かす？

島崎 今回、子ども協会の財団法人化して、境幼稚園の後継施設の運営をしていくとしている。長期計画では、境幼稚園で培われた幼児教育の成果を継承すると述べているが、どのようにまとめているのか。武蔵野市が目指す幼児教育とは何か。

子ども家庭課長 緑豊かな環境、地域の教育力、2年間の凝縮した中で、遊びを通しながら、人格形成期で一番重要なもの、情操面、小学校に入ることも見通しながら、身体・言語といったコミュニケーション

ン能力などを培ってきたことが成果。

教育長 新しい施設の4歳・5歳児は当然、幼稚園教育対象の教育要領によると思う。そのとき、境幼稚園でやっていた地域との連携が大きくベースに据えられるのではないかと。武蔵野市全体の教育の充実につながる部分には、当然我々はかかわっていく。

▽小・中学校情報システム構築 本当に必要なことの検証を！

島崎 小・中学校の情報セキュリティについて、そもそも仕事を自宅に持って帰っていることへの見解は。持ち帰るのはどのような仕事か。持ち帰り仕事の調査や統計はどうまとめてきたのか。今回の情報システム構築は6億円近くかかるというが、ここまでのものを構築する必要があるのか。どこまでのレベルのものが必要なのかをもう1回精査すべきだ。システム構築は、何をやるかによる。シンクライアントなど、他の方式での安いシステム構築例もある。そもそも本来は、学校の仕事を極力家に持ち帰らないようにする、そういう業務構築をするのが基本だ。コストも含め、市民的に納得できるような範囲内でのネットワーク構築とすべきだと思うが、どう考えているか。

市長 話を聞く中で、やはり先生方も、例えば、特に採点をする、資料を読み込むことも含めて、学校の就業時間の中だけではなかなか終わらない、家でやることが多いというのが私の知っている教師の皆さんの圧倒的な声だと思う。

教育長 家でやらざるを得ないという状況がある中で、セキュリティシステムをどうするか、先生方の仕事の効率化をどう図るかが、現実的な対応として求められている。

指導課長 学校外での作業内容を検討するため、今、持ち帰り仕事について調査をかけている。その中で、教材作成が多いのか、校務が多いのかが見えてくると思う。いずれにしても、教材作成の中でも、学校で扱う場合には個人情報が入ってくることがある。学校外での作業については、一応のセキュリティを維持しなければならないということで検討してきた。

教育部長 当初考えていたシンクライアントシステムは、セキュリティが非常に高いが、これでシステム構築を検討したところ、示した金額のさらに1.5倍ぐらいの金額だった。昨年11月に庁内IT戦略会議に諮り、再検討して、同様の機能をソフト的に実現する仮想デスクトップ方式で、コストを下げた実施するという。なお、5億円という金額は、5年のリース料、データセンター借り上げや回線使用料、保守管理等のランニングコスト、教員のシステム研修費用など、すべて含



めた金額。構築費用だけであればその半分近い金額と考える。

教育長 コンピューターの問題は、子どもの指導用が先に立つが、今、先生方で学級・学年・学校通信など、手書きで書く人はほとんどいない。校務の方が全然遅れていた。国とか都が全然対応せず、時間割や通知表の問題など、きちんとしたソフトやシステムが

あった方がいいということで、23区や日野・三鷹などの先行例も研究して、うちはこういうシステムをとろうかということ。ただ、その中で、確かに委員の言うように、もっと方法があるか、もっと下がるかということも、もう一遍吟味しろということだと思うので、その辺は考えてみたい。

※なお、質疑の全文については私のホームページ「Webかわら版」や、武蔵野市議会ホームページのインターネット議会中継 <http://www.musashino-city.stream.jfit.co.jp/> からご覧いただければと思います。

▽平成21年度予算 施策トピックス

<健康・福祉>

◎新規 ○拡大・充実

○妊婦健康診査の公費負担の拡充

9409万円

※ 妊婦の健康管理の充実と経済的負担の軽減のため、妊婦健康診査の公費負担回数を9回分増やし、受診票を14枚交付する。また、里帰り出産と助産所での受診者についても、新たに助成の対象に加える。

○小児・産婦人科救急医療運営費助成事業

1300万円

※ 武蔵野赤十字病院との連携を図り、現行の小児救急医療体制の整備に加え、周産期医療の充実を進め、円滑な救急医療活動を支援する。

◎「みどりのこども館」の開設

8740万円

※ 就学前の子どもと保護者への支援を目的として、平成21年4月に緑町都営住宅に「みどりのこども館」を開設する。運営を(福)武蔵野に指定管理委託し、「地域療育相談室ハピット」、「こども発達支援室ウィズ」を実施するとともに、7月には新たに地域開放型事業として「おもちゃのぐるりん」を開設する。

◎サテライト型小規模老人保健施設整備補助事業

2500万円

※ 医療ニーズの高い高齢者が住み慣れた地域でいつまでも生活できるよう、(財)天誠会が境1丁目にサテライト型小規模老人保健施設「あすなろアネックス(仮称)」を設置するにあたり、整備費の補助を行う。

◎高次脳機能障害者相談支援事業

462万円

※ 事故や脳血管障害などにより脳に損傷を受けた高次脳機能障害者とその家族を支援するため、障害者福祉センター内に専門相談員を配置し相談支援を行う。

<子ども・教育>

○私立幼稚園補助金の拡充

3650万円

※ 私立幼稚園における教育内容のさらなる充実を図るため、配慮を必要とする園児に特別な支援を行っている園に対し、補助制度を新設する。また、耐震設備等の設置にかかる経費を新たに補助するほか、預かり保育への補助についても拡充する。

◎武蔵野市子ども協会の法人化

306万円

※ 子ども育成活動全般を対象とした関連施策に事業を拡大することに備えて財団法人化を目指す。

○桜野小学校校舎等増築工事

3億3378万円

※ 児童数増加に伴って普通教室の不足が予測されるため、校舎の増築を行う。また、あわせて中学校給食の実施に伴い必要となる給食提供数を確保するため、増築棟に単独調理施設を設置する。

◎小中学校緊急地震速報システム設置

695万円

※ 小中学校全教室・職員室に、既設ケーブルを利用した緊急地震速報システムを設置する。

○小中学校耐震補強事業

12億7829万円

※ 平成18年度に実施した耐震の再診断の結果、要補強と診断された施設について、小中学校6校の耐震補強工事を行う。これにより全校の耐震補強が完了する。

○中学校給食の実施

5億9027万円

※ 平成20年度(一・二中)に続き、中学校給食を実施するため、共同調理場等の改修を行う。21年度は、2学期の途中から三・五中、3学期から六中で実施する。

<緑・環境・市民生活>

◎太陽光発電支援モデル事業

500万円

※ 太陽光発電設備で発電された余剰電力(自家消費以外の売電分)に対しての補助制度を新たに実施する。

○太陽光発電設備の設置

3000万円

※ 公共施設の屋上に太陽光発電設備を設置し電気使用量の削減を図るとともに、環境意識の啓発に役立てる。平成21年度は市立第二小学校に設置。

○塵芥処理事業(収集委託料)

10億8855万円

※ 平成21年度より、可燃・不燃ごみの一般収集業務を完全委託化する。また、不燃ごみの収集回数を見直し、収集効率を向上させるとともに粗大ごみの祝日収集の実施により、市民の利便性の向上を図る。

◎認定農業者経営改善支援補助事業

250万円

※ 認定農業者が5年後の経営改善目標計画を達成するため機器購入等の基盤整備を行う場合、年間1戸50万円を上限に経費の1/2以内を補助する。

◎裝飾街路灯維持管理経費補助事業

680万円

※ 新・元気を出せ商店街事業費補助金では対象にならない商店会が保有している裝飾街路灯等の維持管理に係る経費について、一部を補助することにより、商店会活動を支援し来街者の安全確保と商業の振興を図る。

○バス交通サービス向上に関する調査

500万円

※ 平成20年度に実施した調査をもとに、21年度は、誰もが利用しやすい交通体系の実現に向け、ムーバスを含む地域公共交通のサービス向上を図る。課題を抽出、分類し、改善、充実に向けた方針及び具体的施策を策定する。

○武蔵野プレイス建設事業

11億6394万円

※ 武蔵境駅前の農省食糧倉庫跡地に「図書館を中心とする知的創造拠点」をコンセプトとする新公共施設「ひとまち・情報創造館 武蔵野プレイス」を設置する。総事業費は約48億円(※土地購入費を除く)平成20年度着工、23年夏開館を目指す。

◎臭気対策支援事業

150万円

※ 主に吉祥寺駅周辺等で課題となっている臭気対策のため、臭気発生原因となっているビルビッド等に対し、その改修費用等を3年間に限り所有者等に助成し、臭気の解消に努める。

<都市基盤整備>

◎三鷹駅前公共スペース整備事業

5000万円

※ 市民同士の情報交換・交流と市政情報の発信のため、三鷹駅北口に建設される大型マンション内に設置する公共スペースを、市民会議室(仮称)として整備する。

◎三鷹駅北口大型マンション地下自転車駐車場整備

6600万円

※ 三鷹駅北口に建設される大型マンションから、宅地開発等指導要綱に基づき、市へ自転車1500台分の公共駐車場の提供を受けるため、内部工事や維持管理等を行う。

◎吉祥寺駅地下自転車駐車場等整備検討調査

500万円

※ 吉祥寺駅周辺の自転車駐車場不足を解消するため、道路敷き地下等を利用した整備を検討する。吉祥寺大通り歩道上の自転車駐車場の廃止を目指し、道路景観や歩行環境を考慮した道路整備等も検討する。

☆平成20年度 議会 所属委員会 視察報告

H20. 5. 15

○市内企業の障害者雇用を視察 (※全議員対象)



障害者雇用に関する理解を深めるために横河ファウンドリー株式会社(武蔵野市中町)を視察しました。同社では、名刺や各種ゴム印・シール・IDカード等の作成、売上・アンケート・検収・ホームページ等の各種PC入力業務、請求書・展示会案内状等封入・発送作業、パソコン・計測器等のリサイクル分別作業、パン販売、郵便物の配布、消耗品・カタログ管理業務など、横河グループ全体の各種業務を担っています。

H20. 7. 30

○東京都水道局朝霞浄水場を視察 (※全議員対象)



本市水道事業の今後についての参考とするため、東京都の朝霞浄水場を視察しました。朝霞浄水場は、利根川・荒川から取水した原水を浄水処理する施設で、平成16年11月から、オゾンと生物活性炭を使った高度浄水処理を導入しています。現在の武蔵野市の水は、この朝霞浄水場から配水される高度処理率76%の水とのブレンド水ですが、第二期工事施設(※写真は施設予定地)が完成する平成25年度には、高度処理率100%となり、さらにおいしい水になります。

H20. 8. 11~12

○鉄道高架下利活用&駅周辺整備事例等を視察

(※鉄道対策・農水省跡地利用特別委員会)



西宮市での阪神電鉄本線と大阪市でのJR阪和線の鉄道連続立体交差事業、岐阜市でのJR岐阜駅周辺鉄道高架事業等について視察しました。

武蔵野市ではJR中央線三鷹・国分寺間上り線

の高架化が平成22年春ころに予定されています。JRから高架下の「中央ラインモール構想」も示されており、いよいよ議会でも高架下利用や側道・接続道路整備などの議論が本格化するため、他自治体での状況を調査しました。

H20. 10. 8~10

○小児医療・養護学校・作業療法・環境教育等を視察

(※文教委員会)

①愛知県岡崎市「小児医療費助成拡大への取り組み」視察



岡崎市での、乳幼児医療費助成拡大のさいの、「小児救急医療対策協議会」の設置、軽症状でもすぐに救急病院をたよるいわゆる「コンビニ医療化」防止のためのシンポジウムや講座等の開催、「子どもの急病!ガイドブック」作成配布による、子どもを持つ家庭への救急医療への理解促進の取り組みなどを視察しました。

②大阪府堺市「百舌鳥養護学校」視察

比較的重度の知的障害児童が通う百舌鳥養護学校における、集団の中での自己コントロール力の養成と社会的参加への準備教育への取り組みを視察しました。

③大阪府作業療法士会「特別支援教育への取り組み」視察

身体または精神に障害のある者に対し、日常生活での諸動作へのかかわりを通じて、諸機能の回復・維持を促す作業療法について、学校の通常学級などにおけるADHD児童等への対応、担任教師や通級指導学級との連携、親御さんとかかわりなどについて勉強しました。

④兵庫県豊岡市「環境教育の取り組み」視察



豊岡市における、コウノトリを中心に据えた「環境教育」「環境学習」について視察しました。学校での農業・環境・生態系学習や食育、まちの歴史学習等はもちろんのこと、市の基本構想もコウノトリ

中心で、コウノトリ環境条例も制定されています。

※それぞれの視察の詳細は私のブログで。

→ http://blog.livedoor.jp/yoshiji3/archives/cat_1156732.html

武蔵野市議会議員

島崎 義司

◇Profile

しまぎよしじ

◎昭和41年2月10日武蔵野市境生まれ。

◎武蔵野市立二小、六中、拓大一高をへて拓殖大学商学部を卒業。

◎衆議院議員の秘書を9年間勤めた後、実家の食肉卸・加工販売会社に勤務しながら(社)武蔵野青年会議所など地域活動に取組む。

◎平成11年4月市議会議員に初当選。(現在3期目)

現在、市議会鉄道対策・農水省跡地利用特別委員長、文教委員、(財)開発公社評議員、土地開発公社評議員、青少協第二地区副委員長、自民党武蔵野総支部政調会長、武蔵野市防衛協会常任理事・青年部長、日本会議首都圏地方議員懇談会副幹事長、学校法人拓殖大学評議員などを務める。

◎家族は、妻、長女12才、長男9才

☆☆☆市政へのご意見、身近なご相談事など、お気軽にお申し出ください。☆☆☆

